お握りカムバック

炊きたてアツアツのご飯で手を真っ赤にしながら母さんはよくお握りを作ってくれたよね。絶妙な塩加減、口に入れた時のホロッと崩れる感じ。母さんのお握りは世界一だと思ってる。そんな自慢のお握りを僕は些細な事で否定してしまった。「サッピーのお握り　ビンボーくさっ！」海苔もフリカケも付いていないお握りを見た友人の一言。今なら「何にも付けんでも最高に美味いけん、食べてみ。」と胸を張って言い返せるけど、中学生の僕は母さんに八つ当たりするしかなかったんだ。「型で抜いて海苔の巻いた普通のお握りにして。」手の付けられていないお握りを見た時の母さんの悲しそうな顔、今でも忘れられないよ。ごめんなさい。先日無性にお握りが食べたくなって作ろうとしたけどご飯の熱さで一個も握れなかった。赤くなった手の平を見て母さんの愛情を改めて感じたよ。母さん、今度帰省する時、あのお握りを作ってくれませんか。

応募時　（愛媛県20歳）　サッピー